

## SaftyCar（00カー）

### <役割>

- ◎競技前の最初で実質、最後の砦。  
全日本戦でも競技車の前は00, 0の2台体制。  
問題は、00カーがすべて解決することを目指す  
0カーに依頼するのは最終手段。  
解決できない場合は、SSのキャンセルを競技長に提言できる権限を持つ。
- ◎最後の宅急便  
00カー通過後は本番体制になるため、0カー以外にコースには車両、オフィシャルは入れない。備品不足等の配布にも協力し、通過後は臨戦態勢であることを徹底する
- ◎タイムカードの記載の練習台  
オフィシャルは初めて記入するのでミスも多い。正しく記載されているかチェックすること。

### <事前作業>

- ◎コースカースケジュール  
1周目は確認項目が多い。SSの距離、配置ポジション数、さらに次のSSまでの距離も考えて競技長と相談し、スタート時間を決める。
- ◎SaftyPlan（以下SP）  
SS内配置図を事前に確認し、チェックリストを作成し、不明を明らかにしておく
- ◎備品  
予備の備品の積み込みについては、備品担当と相談して決めておく。  
特にコーステープ、タバードが不足すること多く、予備を車載しておくこと。  
また、TC0が設置されていないことも考え、タイムカードを入手しておく  
ヘルメットは不要で、レーシングスーツの着用は競技長と相談（原則、不要）  
サイレンは（拡声器）は強く推奨する

### <レキ>

- ◎SS内のポジション確認  
SS内のポジション、特にコース閉鎖（フィッシャル配置又はテープのみ）の場所は本番中に迷わないよう確認しておき、疑問のある場合は競技長に確認
- ◎設置物、路面状況の記録

## <競技本番>

### ◎スタート前

スタートリストの配布方法を競技長、計時委員長と相談

### ◎TC0～TC1

TCカードを受け取り、TCの設置状況を確認

⇒TC0は設置されていないことも多く、タイムカードは事前に確保しておく。

設置されていない場合は0カーに依頼する

無線チャンネルは次のSSに合わせ、事前にSS内のトラブルを認識しておく

### ◎TC1

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、時計を確認。

スタートリストの配布

時間調整はTCではなく、SSスタートでおこなう。

### ◎SSスタート

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、スタートシステムFIV、レッカーの配置を確認。

スタートリストは3部（山長、スターター、トラッキング）配布

無線状況の確認（トラッキングポイント、HQ）

山長に最終オフィシャル配置の確認

山長に懸念事項確認

フライング（2～3秒前）でスタート

### ◎ラジオ

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、消火器、赤旗を確認。

旗を提示する位置と提示するオフィシャルのタバード（ラジオタバード）の確認

スタートリストの配布

### ◎枝道

テープ、オフィシャルカーの位置の確認

余裕があればスタートリスト配布

### ◎FF

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板を確認。

光電管&反射板の位置が競技車に近くないか確認

光電管を切る前に切ってよいか確認

通過時刻（秒程度）を読み上げ、光電管の計時と確認

スタートリストを配布

### ◎STOP

チェックシートに基づき、オフィシャル配置（タバード）、看板、消火器を確認。

スタートリストは3部（副山長、記録員、トラッキング）配布

設置状況(完了 or 条件付き)を競技長に無線で報告し、開設許可の判断を依頼する

※オブザーバーがいる場合は、オブザーバーにも確認

◎SS終了後

競技長に電話にて連絡（オブザーバーからの指摘等を伝達）

無線チャンネルを次のSSに合わせる

◎ガスコン

営業時間等の確認のため、必ず立ち寄る

◎リエゾン

当日の天候・渋滞で遅れが出そうな場合はHQへ報告

交通取り締まり等がある場合は無線ではなく、電話にて競技長に連絡

◎サービス

車両に問題ない場合、サービスはTC処理して通過し、次のセクションをスタートしてHQにて競技長に報告、打ち合わせをし、休憩もHQでとる